

梅毒 (Syphilis)

梅毒は、皮膚と皮膚の接触により感染し得る細菌（バクテリア）性の STI（性感染症）です。

重要ポイント

- 梅毒は、梅毒に感染している人とのオーラルセックスや膣性交、アナルセックス中に、相手と直接接触することで人から人に感染します
- 症状は感染の段階ごとに異なり、まったく症状が出ないこともあります
- 検査は通常、病変皮膚のスクラブによるサンプル採取や、血液検査により行われます
- 梅毒は完全に治癒することができますが、治療せずにいると脳や心臓、目に深刻な問題を引き起こす可能性があります
- 梅毒の治療には、抗生物質が使われます

梅毒とは？ (What is this?)

梅毒は、細菌性の性感染症です。

梅毒にはどのようにして感染するのか (How do you get it?)

梅毒は、梅毒に感染している人とのオーラルセックスや膣性交、アナルセックス中に、相手と直接接触することで人から人に感染します。

梅毒の感染力は、腫れ・ただれや発疹が出ているときに非常に高くなります。

また、梅毒は妊娠中に母親（または妊娠している人）から赤ちゃんに感染することもあります。

梅毒の症状 (What are the symptoms?)

梅毒に感染しても症状が出ない人もいますので、血液検査をするまで自分が梅毒に感染しているかどうか分からないこともあります。

梅毒の感染には 4 つの段階があり、症状は感染の段階ごとに異なります。第 1 期、第 2 期、そして前期潜伏期の梅毒感染者は、性的なパートナーに梅毒をうつし得る状態にあります。

第1期梅毒

- 痛みを伴わない硬質の腫れ・ただれ（かいよう）が現れます。通常、こうした症状は性器に発症しますが、性的な接触が起きる口や子宮頸部、肛門など性器以外の部位に現れることもあります。
- こうした腫れやただれには通常痛みがなく、身体の見えない部位や隠れた場所に現れることもあるため、自分では気付かないかもしれません。
- 腫れやただれは通常、感染から3~4週間後に現れますが、それより後になってから現れることもあります。このため、いつ梅毒に感染したのかを特定するのが難しくなる場合があります。
- 通常、腫れやただれはその後4週間ほどで自然に治ります。腫れやただれが治癒しても、治療を受けていなければまだ梅毒菌を持ったままですので、他の人に梅毒をうつし得る状態にあります。
- 治療を受けないまま放置された第1期の梅毒は、**第2期の梅毒**につながる場合があります。

第2期梅毒

- 最初に梅毒に感染してから2~4か月後に症状が現れ、数週間続くことがあります。
- 背中や胸部、手・足の皮膚に赤い発疹が出ることがあります。
- 発疹が出ている間は、梅毒の感染力が非常に強い状態です。
- その他の症状としては、発熱や股間・わきの下の腺の腫れ、性器の発疹、脱毛、全般的な疲労感などが含まれます。
- 梅毒は感染の第1期や第2期で治療されないと、**潜伏梅毒**になります。

潜伏梅毒

- この段階の梅毒には症状がなく、血液検査でしか検出することができません。
- 通常、潜伏期の早い段階で梅毒が発見・診断されて治療を受ければ、問題にはなりません。
- 潜伏梅毒は最初の12~24ヵ月は感染力を持っていますが、その後は感染力が弱まります。
- 梅毒に感染していて潜伏期にある人は、追加の検査や専門医による再診、そしてより長期的な治療が必要になる可能性があります。
- 潜伏梅毒を抱えていながら治療を受けない人の約3分の1が、**第3期梅毒**を発症します。

第3期梅毒

- 第3期梅毒は、主に脳や心臓に深刻な健康上の問題を引き起こす可能性があります。
- この段階になると梅毒はもう感染力を持っていませんが、治療は可能です。

梅毒の検査方法 (How do you test for it?)

医師は、性器の腫れ・ただれ、または身体に現れた発疹の外見に基づき、梅毒の診断を示唆することがあります。

医師は腫れ・ただれや発疹のサンプルを採取するスワブ検査を行い、梅毒のDNA（遺伝物質）が検出されるか確認することもあります。また、血液検査の指示も出すでしょう。血液検査では、感染症に対する身体の反応

である抗体が測定されます。抗体がつくられるまでには3ヵ月かかることもあるため、早い段階で血液検査をすると、結果が陰性となることがあります。

抗体検査のひとつは梅毒への感染を検知するものであり、別の抗体検査では感染の活動性を検知します。また、血液検査は梅毒治療に対する身体反応のモニタリングにも利用されているほか、感染からどれくらい経過しているのかを特定するのに役立つこともあります。

妊娠中の方は、梅毒に感染しているかどうか確認するために、血液検査を受けてください。この血液検査は、妊娠中の方が梅毒に感染していたら治療を受けて、赤ちゃんへの母子感染や妊娠中の合併症の発症を防げるようにするために、大事な検査です。

梅毒の治療法 (How is it treated?)

梅毒はペニシリンを使って治療されます。ペニシリンにアレルギーのある方には、代替の治療法があります。

治療は単純で分かりやすいものですが、治療が効いていることを確認するために、血液検査を繰り返し受けることが重要です。治療後3ヵ月、6ヵ月、12ヵ月の段階で、追跡確認のための血液検査を受けることが推奨されています。

ペニシリンによる治療の後、24時間にわたりインフルエンザのような病状が出る人もいます（早期梅毒の段階にある方は、そのような病状が出る可能性が特に高くなります）。こうしたインフルエンザのような病状には、発熱やうずき・痛み、全般的な体調不良などが含まれます。これらの症状は消えていきますので、安静にする時間をしっかり取って水分をたくさん補給してさえいれば、特に治療を必要とするものではありません。

梅毒の治療を受けた方は、発疹や腫れ・ただれが無くなり、治療から最低でも1週間経つまでは、セックスは控えましょう。

治療しなかった場合の合併症 (Are there any complications if not treated?)

梅毒を治療せずにいると、人によっては第3期梅毒の発症につながります。最初に感染してから10~30年後に第3期梅毒が発症することもあります。

第3期梅毒は、主に脳や心臓に深刻な健康上の問題を引き起こす可能性があります。

妊娠中の梅毒感染症は、流産や早産、死産、出生後の死亡などの問題を赤ちゃんに引き起こす可能性があります。

自分を守るために (How can I protect myself?)

セックス中にコンドームやダム（薄いビニール状の防護シート）を使うことにより、梅毒に感染するリスクを大幅に軽減することができます。

妊娠中の方は、妊娠初期に必ず梅毒のスクリーニング検査を受けるようにしましょう。

パートナーに知らせましょう (Let them know)

このように STI（性感染症）の診断を受けたときは、過去 2～3 ヶ月の期間のあなたの性的なパートナー全員が、医師による検査を受けるべきです。

STI を治療せずに放置すると、将来深刻な問題を引き起こしてしまう可能性があるため、あなたの性的なパートナー全員（決まった相手もカジュアルな相手も含む）が検査を受けることが非常に重要です。

パートナーに感染の事実を伝えるのが難しい場合は、Let Them Know [パートナーに知らせましょう] (letthemknow.org.au) というサービスが提供している資料を参考にしてください。ここではパートナーにあなた自身の名前を出して個人的に、または匿名で送ったりやり取りすることができる会話や Eメール、SMS（ショートメール）、手紙のサンプル集が用意されています。

支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもら
- お住まいの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STI に感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000 番（救急）に電話通報してください。